

発 言 通 告 書

発言者氏名	堀りょういち
発言の会議	令和8年 9月14日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

Ⅰ 人とペットが共に安心して暮らせる地域づくりについて

(1) 多頭飼育等を支援するために、動物愛護センター、保健所及び福祉部局の連携体制並びに相談先や対応手順を検証し見直しを行うことについて

(2) ペットの飼育に困難を抱える人への支援について

ア 高齢者とペットが共に安心して暮らし続けられるよう、もしもの時に備えるための情報を、ケアマネジャーなどを通じて高齢の飼い主に届けることについて

イ 飼い主の入院や短期入所などに備え、獣医師会や民間事業者などと連携し、一時預かりの受皿や相談先に関する情報を整理することについて

ウ わたしの終活登録の登録項目に、ペットの引受人や預け先に関する情報を加えることについて

エ 横須賀市版ペットリエゾンを構築することについて

(3) 子どもを対象とした動物介在活動の実施について

ア 教育委員会と保健所が連携し、対象者、活動内容、安全管理、

動物福祉への配慮を整理した上で、子どもを対象とした動物介在活動を、モデル事業として実施することについて

イ 市内の民間団体などと連携し、子ども関係施設や介護施設などを訪問する形で動物介在活動を実施することについて

2 公共施設の断熱化の推進について

(1) 断熱改修の優先順位を判断するためのデータを整備することについて

(2) 市民や地元事業者と連携した学校断熱ワークショップをモデル的に実施し、空調消費電力量等の比較により費用対効果を検証することについて

(3) 市立小中学校体育館の断熱化について

ア 仕様や規模に応じて体育館を類型化し、類型ごとに先行的に断熱・遮熱工事を実施し、施工の前後の室温と空調の消費電力量を測定し、費用対効果に関するデータを蓄積することについて

イ 令和9年度以降については、断熱化を実施した場合の負荷計算も併せて行い、必要な空調能力が過大になっていないかを検証した上で機器を選定することについて

(4) 公共施設のZEB (Net Zero Energy Building) 化について

ア 今後、設計に着手する公共施設の新築・増改築については、少なくともZEB Ready相当を標準として設計する方針を庁内で定め、設計条件に反映することについて

イ 施設のZEB化という視点から、改修や建て替えを早めたほうがよい建物がないか、改めて試算することについて

ウ 改修や更新時に断熱性能の向上を検討する仕組みを個別施設計画の見直しに組み込むとともに、次期FM戦略プランには、公共施設のZEB化、少なくともZEB Ready化を標準とする方針を明記することについて